

令和4年3月1日

学校運営協議会の皆様

山県市立大桑小学校運営協議会
会長 横山 剛
副会長 花村 伸二

第3回学校運営協議会について

早春の候、学校運営評議員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、学校運営協議会の活動並びに本校の教育活動に、格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、予定しておりました第3回学校運営協議会につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、参集型ではなく紙面会議とさせていただきます。

紙面会議の内容としては、令和3年度後期学校関係者評価について、令和4年度学校経営グランドデザインについて、令和4年度学校行事案についてです。今年度の学校関係者評価については、児童・保護者からの学校評価アンケートの結果に学校運営協議会の皆様から頂いた意見を加えまとめたものを、学校関係者評価としたいと思えます。また、校長から令和4年度の学校経営のグランドデザインについて提案させていただきます。さらに、令和4年度の学校行事案について、本校は来年度創立150周年を迎えることも併せて提案させていただきます。

記

1 送付文書等

- (1) 令和3年度後期学校関係者評価について
- (2) 令和4年度学校経営グランドデザインについて
- (3) 令和4年度学校行事案について
- (4) ご意見記入用紙
- (5) 返信封筒

2 お願い

- ・ご意見につきましては、3月14日（月）までに返信していただけると幸いです。
- ・返信封筒を同封させていただきましたが、FAXやメールでのご返信でも構いません。

担当者	教頭 鷺見 博史
電話	0581-27-2151
FAX	0581-27-3713
メール	oogasyo@yamagata-gifu.ed.jp

令和3年度後期学校評価結果

調査日 令和3年12月10日～12月25日

数値は「そう思う」「少しそう思う」、「良好」「やや良好」、「とてもよい」「よい」という肯定的な回答の割合

R3前期と3%以上
の差があった
もの
R2後期と3%以上
の差があった
もの

児童アンケート

主に学校での生活にかかわること

	R3後期	R3前期	R2後期	R2前期		
1 自分にはよいところがある。	92.7%	92.7%	89.8%	91.8%		
2 先生は、自分のよいところをほめている。	100.0%	97.6%	93.9%	98.0%		↑
3 学校の友だちや先生に、大きな声であいさつをしている。	97.6%	92.7%	98.0%	95.9%	↑	
4 自分は、将来の夢や目標をもっている。	92.7%	87.8%	95.9%	85.7%	↑	↓
5 学校は楽しい。	100.0%	100.0%	95.9%	95.9%		↑
6 学校の授業は、楽しい。	100.0%	100.0%	95.9%	95.9%		↑
7 先生の授業は、分かりやすい。	100.0%	97.6%	100.0%	98.0%		
8 学校の一員として、進んで役に立つことをしている。	95.1%	92.7%	93.9%	91.8%		
9 よいことをしている友だちに「ありがとう」とよく声をかけている。	97.6%	100.0%	93.9%	91.8%		↑
10 友だちと協力し、ボランティアや委員会活動などで、よりよいくらしを作っている。	97.6%	90.2%	95.9%	89.8%	↑	
11 学校（生活）のきまりを守っている。	100.0%	97.6%	89.8%	98.0%		↑
12 授業の中で、自分の考えをがんばって発表している。	95.1%	92.7%	98.0%	93.9%		
13 友だちの意見を、うなずいたり反応したりして聞いている。	97.6%	97.6%	91.8%	91.8%		↑
14 教室の机の引き出し・ロッカーなど、自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	92.7%	92.7%	85.7%	87.8%		↑
15 休み時間には、進んで外で遊んでいる。	100.0%	100.0%	95.9%	79.6%		↑
16 いじめがあった（見た）とき、相談できる人はいる。	97.6%	90.2%	93.9%	95.9%	↑	↑

主に家庭や地域での生活にかかわること

17 家庭学習を、目安の時間（例；6年生は60分）している。	97.6%	95.1%	89.8%	91.8%		↑
18 家や学園で、自分から進んで宿題に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	95.9%	93.9%		↑
19 家族（学園の先生）に、学校であった話をしている。	87.8%	92.7%	87.8%	89.8%	↓	
20 家族（学園の先生）は、自分のよいところをほめている。	92.7%	92.7%	89.8%	91.8%		
21 学校から帰ってからの生活では、「早寝、早起き、朝ごはん」を行っている。	95.1%	97.6%	95.9%	93.9%		
22 家（学園）で、自分の部屋や自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	95.1%	90.2%	79.6%	81.6%	↑	↑
23 地域の人に、相手に聞こえる声であいさつしている。	97.6%	97.6%	87.8%	98.0%		↑
24 大桑で行われている行事、ボランティアなどに、よく参加している。	90.2%	92.7%	87.8%	83.7%		
25 ドライバーとアイコンタクト（会釈）をしている。	90.2%		91.8%	89.8%	↑	

保護者アンケート

主に学校の取組にかかわること

	R3後期	R3前期	R2後期	R2前期		
26 子どもは、喜んで学校に通っている。	100.0%	97.5%	95.7%	95.7%		↑
27 子どもは、授業が楽しいと言っている。	100.0%	95.0%	93.5%	95.7%	↑	↑
28 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	100.0%	95.0%	95.7%	91.3%	↑	↑
29 学校は、規律ある生活やいじめを許さない風土をつくりあげている。	100.0%	100.0%	97.8%	95.7%		
30 学校は、子どもを理解し、よさを伸ばすように努めている。	100.0%	100.0%	95.7%	97.8%		↑
31 学校の活動の様子が、便りなどを通して伝わっている。	100.0%	100.0%	95.7%	100.0%		↑
32 来校時や電話、相談などの学校職員の対応は適切である。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

主に家庭や地域での生活にかかわること

33 「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活に努めている。	84.4%	85.0%	84.8%	89.1%		
34 家庭では、ゲームやネットより、スポーツや外遊びを優先している。	78.1%	72.5%	67.4%	43.5%	↑	↑
35 自分の部屋や道具の整理整頓ができています。	53.1%	52.5%	52.2%	50.0%		
36 役割を決めてお手伝いをしている。	96.9%	87.5%	71.7%	65.2%	↑	↑
37 家庭学習をする習慣が身に付いている。	93.8%	90.0%	89.1%	76.1%	↑	↑
38 家庭（学園）内で、子どものよさをほめている。	100.0%	100.0%	95.7%	95.7%		↑
39 子どもは、いつでもどこでも誰に対しても挨拶ができる。	87.5%	82.5%	76.1%	69.6%	↑	↑
40 子どもは、学校でのできごとや友だちの話をよくする。	90.6%	95.0%	84.8%	82.6%	↓	↑

本年度の学校やPTAの特徴的な取組について

41 学校が教え方を工夫するなど、分かりやすく教えることについて	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	↓	↓
42 かしの木フェスタや学習発表会、福祉施設との交流など、地域と連携した活動について	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%		
43 安全への配慮や、自分の命を自分で守る力をつける取組について	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%		
44 体育館で行うスポーツ用品を利用した体力づくりについて	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	↓	↓
45 たくましい子に育てる「よさの通帳・ハイタッチ挨拶・ほめほめカレンダー」の取組	100.0%	97.5%	100.0%	97.8%		
46 新型コロナウイルス感染症対策について	100.0%					

大桑小学校 令和3年度 年度末 職員自己評価表

できた(5点) おおむねできた(4) ややできてない(2) できてない(1)

重点	今年度の観点	評価の窓	R3後期	R3前期	0.5以上の増減
学びをすすめる力の育成 「できた」「伸びた」が実感できる授業づくりと自分たちで	目指す姿の定着(学力)	めざす学力を児童に身に付ける。	4.0	3.4	◎
	目指す姿(授業)の明確化と見届け	本時で目指す姿を具体的にをもって授業を始める。見届けの場を明確にし、状況に応じた指導・援助を行う	4.0	4.0	
	教材教具の工夫と活用	学習意欲を高め、効果を上げるために教材教具を工夫する。	4.4	3.7	◎
	目指す姿の定着(表現力)	児童は、自分の意見を積極的に発言している。	3.5	3.5	
	子どもの追究意欲を高め思考を大切に	子どもに言わせたい言葉を具体化し、そのためにどのような展開、発問をするかを吟味する。	3.4	3.0	
	学習のねらいに迫るための学習活動の工夫	自分の考えを書いたり、相手に伝えたりする場を位置付ける。	3.9	3.4	◎
	目指す姿の定着(学習規範)	児童に学習規範が身に付いている。 (話し方・聞き方、ノートの使い方)	3.7	3.5	
	学習規律・学習姿勢・学習習慣の定着	学習姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.2	4.2	
		児童の発表(話)は最後まで聞く。 (児童の発表中に口をはさまない) 活動に節目をもって授業を進める。(活動を区切るときは、全員が止めたことを見届けてから、次の指示を出す。)	4.0	4.0	
		授業は、時間を守って終わる。	3.9	3.2	◎
	目指す姿の定着(学習習慣)	学年や実態に応じた家庭学習が定着している。	4.2	4.0	
	家庭や地域との連携 学習内容を確実に定着させるための指導	授業とつながりをもたせ、家庭学習の習慣が身に付くよう指導する。	4.4	4.0	
温かい人間関係の中で支え合いながら、たくましく生きる力を育成	目指す姿の定着(自己有用感)	児童の自己有用感が高まっている。	4.2	3.8	
	日常生活における豊かな心を育む活動(体験活動等)	教育活動全体を通して道徳的実践ができる指導・啓発に努める。	3.9	3.8	
	心に響く道徳の授業	話し合いや交流を通して、道徳的価値について考える	3.2	2.8	
	自己啓発力・自己指導能力の育成	一歩立ち止まって、子供自身に「考えさせる」「見つめさせる」ゆとりをもった指導・啓発にあたる。	3.8	3.6	
	意図的計画的な指導(見通し)	学級(学校)目標を意識して活動と指導を関連づけた実践を行う。	3.9	2.9	◎
	心の居場所となる教育環境	存在感や所属感・有用感を味わうことができる学級(学校)集団づくりに努める。	4.2	3.9	
	自己有用感と自己肯定感の醸成 「ありがとう」と「すごいね」の使い分け	良い行いには、子供にも感謝の気持ちをもって接し、「ありがとう」の言葉が広がるよう努める。	4.6	4.5	
		行為と心情をつなげて価値に気付かせるなどほめる指導の内容を高め、自己肯定感を育てていく指導に努める。	4.0	4.0	
	いじめ防止への啓発	いじめを絶対許さないという構えで、「いじめ見逃し0」に努める。	4.6	4.6	
		目指す姿の定着(生活規範・生活習慣)	児童に生活規範が身に付いている。 (きまり・ルールを守る)	2.9	3.3
		児童に生活習慣が身に付いている。 (身の回りの整理・整頓等)	3.2	3.2	
		誰にでも相手に伝わる声であいさつをしている。	3.9	3.5	
	生活規範・生活習慣の定着	生活姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.2	3.9	
	家庭や地域との連携	心の教育を広める学級だよりの発行や懇談の場の設定などに努める。	3.5	3.2	
健康や安全の育成 について、自ら考え行動で	目指す姿の定着(自分の命を守る力)	自分の命は自分で守る力が高まっている。	4.2	4.0	
	危機回避能力(危険を「見立てる」力)の育成	事故防止に努め、命を第一にする指導に心がける。	4.4	4.5	
	目指す姿の定着(体力づくり)	児童は、進んで外で遊んでいる。	4.2	3.9	
	めあてをもたせた体力づくり	運動に親しむ態度を育てる。	4.2	4.0	
	健康的な生活力の育成	自分の心身の状態に関心をもち、健康で安全な生活を送ることができる指導を行う。(けんこうカードの活用など)	4.4	3.3	◎
	定期・日常的な教育相談体制の充実	日常的な教育相談ができる場が一人一人に位置づくよう心がける。	4.5	4.5	
	職員の危機回避体制	「大丈夫かな?」「ちょっと変だな?」と思ったら、すぐ報告・対応に努める。	4.6	4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、健康安全教育を推進する。	4.2	4.0	
自然と歴史を基にした地域連携(ふるさと教育)	目指す姿の定着(郷土愛)	進んで地域の行事や活動に参加している。	4.0	3.5	◎
	自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	点ではなく線でつながる地域貢献的な学習活動等を仕組み、ふるさと学習の充実を図る。	4.2	3.5	◎
	地域人材(地域団体)の活用	積極的に地域人材(地域団体)を活用し、学習活動の充実を図る。	4.2	3.2	◎
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.5	◎

令和4年度大桑小学校の主な年間行事（案）

- 令和4年度、大桑小学校は創立150周年です。城山登山や運動会などの各行事に創立15周年記念を銘打って実施したいと考えています。

1 学 期	4月	7日 入学式、始業式 15日 命を守る訓練（地震） 19日 全国学力調査（6年生） 20日 1年生を迎える会 20日 学校運営協議会 21日 授業参観・PTA総会・学級懇談会 23日 開校記念行事城山登山	
	5月	21日 運動会・市民スポーツフェスタ 26日 交通安全教室	
	6月	16日 森と川の学校（5年生）（～17日） 日 命を守る訓練（不審者対応）	
	7月	1日 授業参観・学級懇談会・合同地区懇談会 14日 個別懇談（～15日） 15日 環境教育推進事業（高山市五色ヶ原の森散策） 20日 終業式	
2 学 期	8月	29日 始業式 30日 宝物展（～31日）	
	9月	1日 命を守る訓練（地震・火災） 22日 授業参観・懇談会	
	10月	7日 就学時検診 20日 修学旅行（6年生）（～21日） 日 給食試食会 日 大桑地区防災訓練	
	11月	日 かしの木フェスティバル	
	12月	19日 個別懇談（～20日） 26日 終業式	
3 学 期	1月	10日 始業式 日 書初め大会 日 命を守る訓練 日 高富中学入学説明会（6年生）	
	2月	10日 新1年入学説明会 日 学校運営協議会	
	3月	3日 6年生を送る会・学級懇談会 23日 卒業式 24日 修了式	

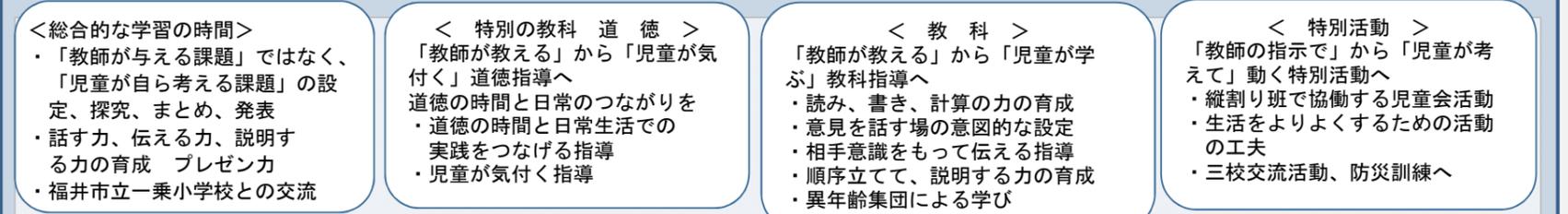
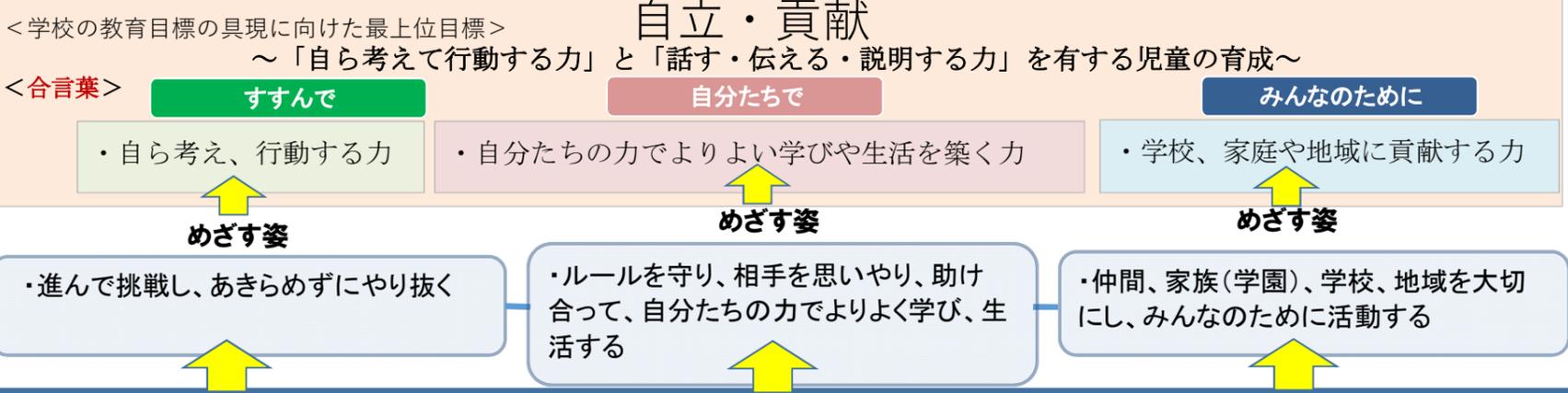
※今日現在の予定ですので、変更は随時あります。参考程度にご覧ください。

大桑小グランドデザイン2022

「大桑小ならではの」教育
 ○大桑城跡、越前堀、十五社神社などの歴史教育、ふるさと教育
 ○大桑公民館等との地域連携教育

市の基本理念「師を仰ぐ心」を養う
 「師」とは、親・先生・先輩・地域の人々
 「子」は、人々の熱き思いに育まれていることに感謝し、教育は、それらの人々を尊ぶ心で養う。
 (学校教育の課題解決のアプローチ)
 ・いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ
 ・10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ

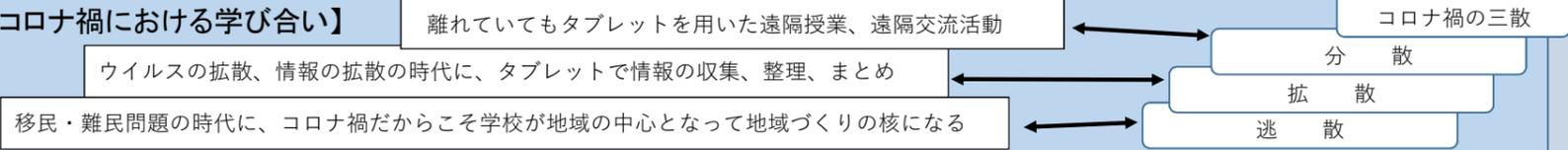
学校の教育目標
力いっぱいやりぬく 大桑の子



【ふるさと大桑での体験活動を通して豊かな感性の育成】 → **直接体験(成功体験だけでなく、失敗から学ぶ体験を)**

- 五感を働かせて体験し、物事を直感的、感覚的にとらえる体験により、豊かな感性を育成
- 「なぜ、どうして」「どうしたらよいか」と自ら考え、自分で課題を設定し、各教科で身に付けた見方、考え方をういて解決を図る。

【コロナ禍における学び合い】



【教師がどうするかを与えるのではなく、どうしたいかを自ら考える児童へ】

- < 児童間のトラブルは、仲間作りを学ぶチャンス > 3つの声かけ
 1「どうしたの?」 2「それであなたは、どうしたいの?」 3「先生にできることは何ですか?」 児童の自己決定を促す3つの声かけ

【基盤となる指導】日常生活の基礎・基本にかかわる指導 ～ 凡事徹底 ～

- 安心感のある生活 :「きまり・約束は守る」「いじめを許さない」 学校いじめ防止対策基本方針に沿った対応
 美しい環境 :「学校(教室)は、美しい環境を保つ」 掃除 後片付け 掲示物 美しい文字
 互いを尊重する関係:「全校の合い言葉『すすんで』『じぶんたちで』『みんなのために』」

【事務部の主体的参画】

- < 事務部経営方針 >
 児童にとって安心安全な学校環境づくりに努める。

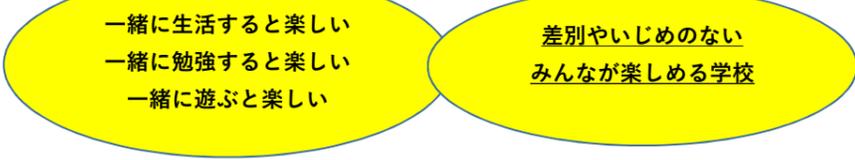
【教師の構え】

基礎基本の徹底

国語、算数を中心に、読み、書き、計算の技能の習得に向けて、徹底的に指導する。

【児童の願いを実現する～教育から学習への転換～】

児童の最上位目標
「みんなが楽しい学校にしたい」
 高学年児童との話し合い2022.1.31
 ティーチャーからファシリテーターへ



【各教科】

- ・基礎基本の徹底を図る。読み書き計算
- ・書く時間、話す時間を授業に位置づける
- ・書き方、話し方を指導し、児童が書きやすい、話しやすい指導をする。
- ・タブレットのアプリ、GIFUWebラーニング

【学級活動】

- ・児童主体の話し合い活動を位置づける。
- ・提案→検討→採決→決定→実行→振り返りのサイクルを児童が中心となって進める。
- ・常時活動から、創造的な活動へ転換する
- ・楽しい活動を進めて、楽しい学校づくりへつなげる

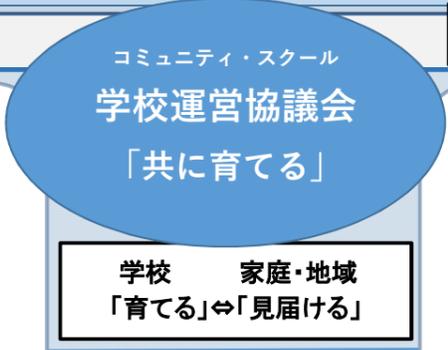
【委員会、係活動】

- ・当番活動の徹底と創造的な活動の創出。
- ・なかよし班単位での活動を児童主体で行う
- ・様々な遊びを中心に、楽しい学校づくりへ
- ・児童にできることは、児童にさせる。

指標

- ・児童に、基礎基本が身に付いたか
- ・「話す」「伝える」「説明する」力を付けた児童を育てられたか
- ・話し合い活動ができる児童を育てられたか
- ・児童自らが考え行動する力を育てられたか
- ・仕事を創り出す児童を育てられたか
- ・夢中になって遊べる児童を育てられたか

【幼保小中連携】・中学校でも通用する指導であるか
 ・幼保の指導を引き継いだ指導であるか



家庭・PTAとの連携
「家庭の成長」＝「子供の成長」

- ・PTAスローガン「明るく元気なPTA」
 ～まず「大人から」仲良く明るく元気になろう～
- ・学校の指導指針(自分で決める)と子育て指針の共有
- ・在宅型の家庭教育学級、オンライン活用型
- ・学校評価を活用した学校経営改善
- ・家庭学習の充実と連携

地域・関係諸機関との連携
「地域と元気を共有しよう」

- ・地域と協働した行事の開催(防災訓練など)
- ・若松学園との日常的な連携 園長校長交流
- ・地域の人材や団体の協力による校外学習等の充実
- ・大桑・桜尾・梅原三校交流の充実
- ・安全教育・防災教育の連携強化
- ・地域行事への積極的な参加
- ・香り会館、十五社神社など地域施設で学ぶ